

平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会社名 東洋合成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁
(コード番号: 4970)
問い合わせ先 人材総務部長 水戸 智
電話番号 03-5822-6170

新製品「Ready to use 3D 新鮮ヒト肝細胞培養プレート『PXB-able™』」の
販売開始のお知らせ

東洋合成工業株式会社は、株式会社フェニックスバイオと共同で開発を行った、キメラマウス由来新鮮ヒト肝細胞を播種済みの細胞培養プレート「PXB-able™」の商業用販売を開始することを決定致しましたので、以下のとおりご案内致します。

記

1. 新製品の販売に至るまでの経緯

平成 27 年 11 月 13 日に、DILI(薬物性肝障害) 予測試験用 Ready to use 3D 新鮮ヒト肝細胞培養プレート『Cell-able® for DILI with PXB-cells®』に関して、平成 28 年 4 月に販売することを開示致しました。今回、DILI 予測試験だけでなく、食品・化粧品・医薬部外品の安全性評価においても使用されることを踏まえ、製品名を「PXB-able™」として、平成 28 年 5 月中旬に試験販売を開始致します。

2. 新製品の概要

(1) Ready to use 3D 新鮮ヒト肝細胞培養プレート「PXB-able™」の概要

製品名	プレート種類	プレート詳細	発売時期 (試験販売)
PXB-able™	384-well plate	Black wall, Clear bottom, 290 spheroids/well	平成 28 年 5 月中旬
	96-well plate	Black wall, Clear bottom, 900 spheroids/well	

(2) Ready to use 3D 新鮮ヒト肝細胞培養プレート「PXB-able™」の特徴

➤ Ready-to-use

細胞を生体に近い形態で培養することができる、3 次元細胞培養プレート Cell-able®に、株式会社フェニックスバイオのヒト肝細胞キメラマウス「PXB マウス®」から採取した新鮮ヒト肝細胞を播種した状態でお客様にお届けしますので、直ちに薬剤暴露試験を開始できます。

➤ **肝特異的機能を長時間維持**

肝特異的機能を長期間にわたって維持したまま培養することが可能です。第1相代謝のみならず第2相代謝によって産出される代謝物による毒性評価、薬物に長期間暴露されることによって初めて顕在化する肝毒性の検出等、薬物性肝毒性を多面的に検討することができます。

➤ **トランスポータブル**

プレート基板表面上に細胞が接着しているため、細胞培養期間中も輸送可能で、薬物暴露と測定を別施設で実施することができます。その結果、施設間差や手技間差の問題も軽減します。

これらの特長を利用することで、薬物性肝毒性などを研究開発の早い段階で発見できる可能性があります。また、食品・化粧品・医薬部外品の安全性評価において動物実験代替法の一つとして普及することが期待されております。したがって、当社は本製品が使用されることにより、医薬品その他の安全性評価が促進されて、その結果、QOL(Quality of Life)の向上に貢献すると考えています。

3. 共同開発相手先の概要

(1) 名	称	株式会社フェニックスバイオ	
(2) 所	在	地 広島県東広島市鏡山三丁目4番1号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 藏本 健二		
(4) 事業内容	PXBマウス事業		
(5) 資本金	2,229百万円(平成28年3月末現在)		
(6) 設立年月日	平成14年3月		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

4. 今後の見通し

同プレートは、5月中旬の試験販売を経て、6月頃の本格販売を予定しております。

なお、本製品の販売までに要した費用は軽微であり、また本製品の販売が当期の業績に与える影響については、売上高を含め軽微であります。将来的に公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示致します。

以上

(参考) 当期業績予想(平成28年5月13日公表分)及び前期実績 (百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (平成29年3月期)	18,000	650	450	290
前期実績 (平成28年3月期)	17,919	966	688	468